

まほらいな市民大学の様子

令和6年12月16日（月）

『 人生の宝を集める 』

講師 東春近護国寺 前住職 杉田 寛仁 氏



「野の花観音」がある護国寺の杉田寛仁氏から、『人生の宝を集める』という心にしみるお話をしていただきました。杉田氏は心にとまった新聞記事などの切り抜きを大切に保管され、より心豊かな生き方になるよう日々精進されています。今の生活、暮らしで大切なものは一般的に1健康、2時間、3お金、4家族・友達、5仕事の5つであるが、どうもほんとうの宝は形の見えない、心の世界にあるように思うと話されました。病気で目が見えなくなり、足も動かなくなってしまった少女が、「目や足がどれだけ私を強くしてくれたことか。大好きな目、大好きな足、ありがとう」と感謝する話には涙がこぼれました。他にも「母親への感謝」の話など琴線に触れる話がいくつもありました。やさしさ、思いやり、慈愛がその人の徳となり宝になっていく。仕事はやさしさ、思いやり、慈しみを育てるために与えられたものである。笑顔でニコニコ仕事をすることも尊いこと。「行ってきます。」「ただいま。」その何げないやりとりの中に「命の大切さ」や「幸せ」がある。「体に痛いところがあったらその箇所をさすってあげて体に感謝しよう。」等々、日々の暮らしの中にある「人生の宝」を感じて生きていこうと話されました。

学生からは、「お金は使えば使うほど減ってしまうが、使えば使うほど増えるものは、思いやり、やさしさ、目に見えない宝。宝は心の中に、そんな生き方をこれからしていきたい。」「70代まで生きてきましたが、朝起きたら、今日が一番若い！今日もありがとうね！と自分の体と心に伝えて生活していきたい。」「心が洗われるお話でした。心の宝に気づき、心豊かに日々を過ごしたい。」「いつかは預かってもらっている命をお返しする時がくる。その時には“ありがとうございます”と言って終われるといいなあと思いました。」といった感想がありました。